

# 建設コンサルタント業務、測量・調査業務の入札参加申請書様式の変更について（平成31年2月1日以降に公告する業務より適用）

## ◆ 表彰実績の有無に関する記入欄を追加します

- 参加表明書の様式（配置予定技術者の経歴等）において、表彰実績の有無に関する記入欄を追加するとともに、表彰状（写し）の提出を求めます。なお、記載及び表彰状（写し）の添付がない場合は評価の対象としない。
- 詳細については、入札説明書によりご確認ください。

### 現行様式

#### 様式3 配置予定管理技術者の経歴等

- 氏名
- 生年月日
- 所属・役職
- 保有資格
- 専門性の高い資格
- 従事技術分野の経歴（職歴）

別添-1  
(様式-3)

・配置予定管理技術者（技術指導者）の経歴等

①氏名 (旧姓： )	②生年月日
③所属・役職	
④保有資格	
博士（専攻分野： ） ・ 取得年月日：（※博士を認定する場合に記載）	
又は専攻分野： ) ・ 登録番号： )	取得年月日： )
APEC エンジニア（分野： )	取得年月日： )
その他（名称： ) ・ 登録番号： )	取得年月日： )
⑤専門性の高い資格	
※入札説明書4.(5)④に記載された専門的な資格を有する場合は記載する。	
名称： )	登録番号： ) ・ 取得年月日： )
⑥従事技術分野の経歴（職歴）	
1)	年 月～年 月（年 ヶ月）
2)	年 月～年 月（年 ヶ月）
3)	年 月～年 月（年 ヶ月）

注1：保有する資格について資格取得または合格証明書等の写し（技術士の場合は選択科目が確認できるもの）を添付すること。博士については専攻分野が確認できるものを添付すること。但し、博士（学術）で申請する場合は、工学又は〇〇学に関連する研究分野であることが確認できるもの（例：修士した研究科、専攻等が記載してある学位記等）（※博士を認定する場合に記載）

注2：競争参加資格申請書の提出時と並行的に実務経験を認定できる書類を添付すること。

注3：RCCM等、保有資格に加えて他関係の実務経験を認定している場合は、認定された年数の実務経験を経歴に記載すること。

注4：ROCMの場合に求める他関係の実務経験が3年以上ある場合は、技術者として従事した具体的な他関係の実務経験を業計で3年（36ヶ月）以上有している者をいう。

注5：④に記載した資格とは別に専門性の高い資格を有している場合は、④に記載すること。なお、専門性の高い資格を有していても④に記載されていない場合は、評価の対象としない。

※専門性の高い資格を認定する条件のみ記載する。

注6：専門性の高い資格が2つ以上記載されている場合、予配技術者が専門性の高い資格のみ2つ以上有している時は、④に記載した専門性の高い資格とは別の専門性の高い資格を④に記載すること。

※従後測量及び水産測量等、専門性の高い資格を2つ以上認定する条件のみ記載する。

注7：数を変更している場合は、旧姓を併記すること。

注8：説明書4.1) (6)により、40歳未満の若手技術者を配置予定管理技術者として登録する場合は、本様式には配置予定管理技術者となる技術指導者に関する事項を記載すること。

### 新様式

#### 様式3 配置予定管理技術者の経歴等

- 氏名
- 生年月日
- 所属・役職
- 保有資格
- 専門性の高い資格
- 従事技術分野の経歴（職歴）

別添-1  
(様式-3)

・配置予定管理技術者（技術指導者）の経歴等

①氏名 (旧姓： )	②生年月日
③所属・役職	
④保有資格	
博士（専攻分野： ） ・ 取得年月日：（※博士を認定する場合に記載）	
又は専攻分野： ) ・ 登録番号： )	取得年月日： )
APEC エンジニア（分野： )	取得年月日： )
その他（名称： ) ・ 登録番号： )	取得年月日： )
⑤専門性の高い資格	
※入札説明書4.(5)④に記載された専門的な資格を有する場合は記載する。	
名称： )	登録番号： ) ・ 取得年月日： )
⑥従事技術分野の経歴（職歴）	
1)	年 月～年 月（年 ヶ月）
2)	年 月～年 月（年 ヶ月）
3)	年 月～年 月（年 ヶ月）
⑦表彰の有無	
有・無	表彰年度
※1つづかに丸印をつける	

注1：保有する資格について資格取得または合格証明書等の写し（技術士の場合は選択科目が確認できるもの）を添付すること。博士については専攻分野が確認できるものを添付すること。但し、博士（学術）で申請する場合は、工学又は〇〇学に関連する研究分野であることが確認できるもの（例：修士した研究科、専攻等が記載してある学位記等）（※博士を認定する場合に記載）

注2：競争参加資格申請書の提出時と並行的に実務経験を認定できる書類を添付すること。

注3：RCCM等、保有資格に加えて他関係の実務経験を認定している場合は、認定された年数の実務経験を経歴に記載すること。

注4：ROCMの場合に求める他関係の実務経験が3年以上ある場合は、技術者として従事した具体的な他関係の実務経験を業計で3年（36ヶ月）以上有している者をいう。

注5：④に記載した資格とは別に専門性の高い資格を有している場合は、④に記載すること。なお、専門性の高い資格を有していても④に記載されていない場合は、評価の対象としない。

※専門性の高い資格を認定する条件のみ記載する。

注6：専門性の高い資格が2つ以上認定されている場合、予配技術者が専門性の高い資格のみ2つ以上有している時は、④に記載した専門性の高い資格とは別の専門性の高い資格を④に記載すること。

※従後測量及び水産測量等、専門性の高い資格を2つ以上認定する条件のみ記載する。

注7：数を変更している場合は、旧姓を併記すること。

注8：説明書4.1) (6)により、40歳未満の若手技術者を配置予定管理技術者として登録する場合は、本様式には配置予定管理技術者となる技術指導者に関する事項を記載すること。

## ⑦表彰の有無（表彰年度、業務名）

**\*⑦で表彰の記載をした場合は、表彰状の写しを添付すること**

注9：表彰実績を有している場合は、写しを添付すること。なお、表彰状を有していても⑦に記載されていない場合は、表彰の対象としない。